



# もえぎ



青年部機関紙第 34 号

2016 年 9 月 9 日発行

編集・発行 全道庁上川総支部青年部

## “えさきたかし”ってどんな人？ 参議院選挙で再選！！

### ～えさき たかし 決起集会の様子～



6月12日、札幌市で「えさき たかし」総決起集会 in 北海道が開催され、上川総支部からは7人が参加しました。

この集会では全道で取り組んだ「私たちの要望書」を代表者がえさき参議院議員に手渡しをする機会があり、この中には先日開催した「政治学習会」で取り組んだ要望書もありました。

私たちが取り組んだ要望書では、「新採の育成体勢が不十分なままの採用が増加しており、職場の体勢・組織づくりをもっと考えてほしい」、「医療費を無料にしてほしい」、「最低賃金を上げてほしい」との声が出されました。その中でも一番多く出されたのが、「賃金をあげてほしい」という声でした。実態として「買いたい物が買えない」「毎月、もっと余裕のある生活をしたい」という声もあり、深刻な現状を訴える要望が出されています。

えさき参議は、「消費税が上がる一方、法人税は減っている。実際に消費税増税により282兆円の財源増となったが、法人税は255兆円の減となっており、27兆円しか増となっていない。国民の生

活を苦しめ、企業の一部の人のためのこの政策を変える必要がある。」と“怒り”を声にしてくれました。また、「国民の大多数が反対するなかで、強引に可決・成立させた安保法制により、安心して安全な生活が脅かされている。私は、戦争法案廃案を求める活動に先頭に立って取り組みたい。」と決意を表明してくれました。私たちのために怒り、そして政治を変えようとしてくれている姿勢、身にしみた決意表明でした。

えさき参議は、先日行われた第24回参議委員議員選挙で184,187票もの得票で当選を果たしました。えさき参議本人から「支援の拡がりをととても感じた。皆さんの思いをしっかりと受け止めて、働くものの処遇改善にむけて国会でもしっかりと取り組んでいく」と決意も出されています。私たちのため、より良い社会をめざすために政治の場で奮闘してくれることでしょうか。私たちも引き続き自分たちの思いや実態を政治家に伝えることで、生活職場実態の改善をめざしていきましょう！！

### ☆上川総支部青年部参加者☆

